

Blue Chip Consulting Co.,Ltd.

株式会社ブルーチップ・コンサルティング

資本関係再構築事業

2012年1月10日

株式会社ブルーチップ・コンサルティング

代表取締役:大木健司

1

事業概要

■ コンセプト

日本経済、日本企業の先行きには明るさが見えません。リーマンショックから欧州危機といった海外発の危機、東日本大震災、少子高齢化等の国内問題まで要因は様々です。我々は、その一因が複雑に絡み合った利害関係にあると考えます。そこで、弊社のノウハウを活用し、日本の中小企業の再生、日本経済の再建を目指します。

■ 資本関係再構築

■ 買い手市場(流動性の低下)

- ・安価な価格による資本関係の再構築の好機
⇒ 旧株主、新株主、発行体の3社がメリット享受。
- ・VCファンドの償還期限到来
⇒ 償還に伴う現金化需要の増大

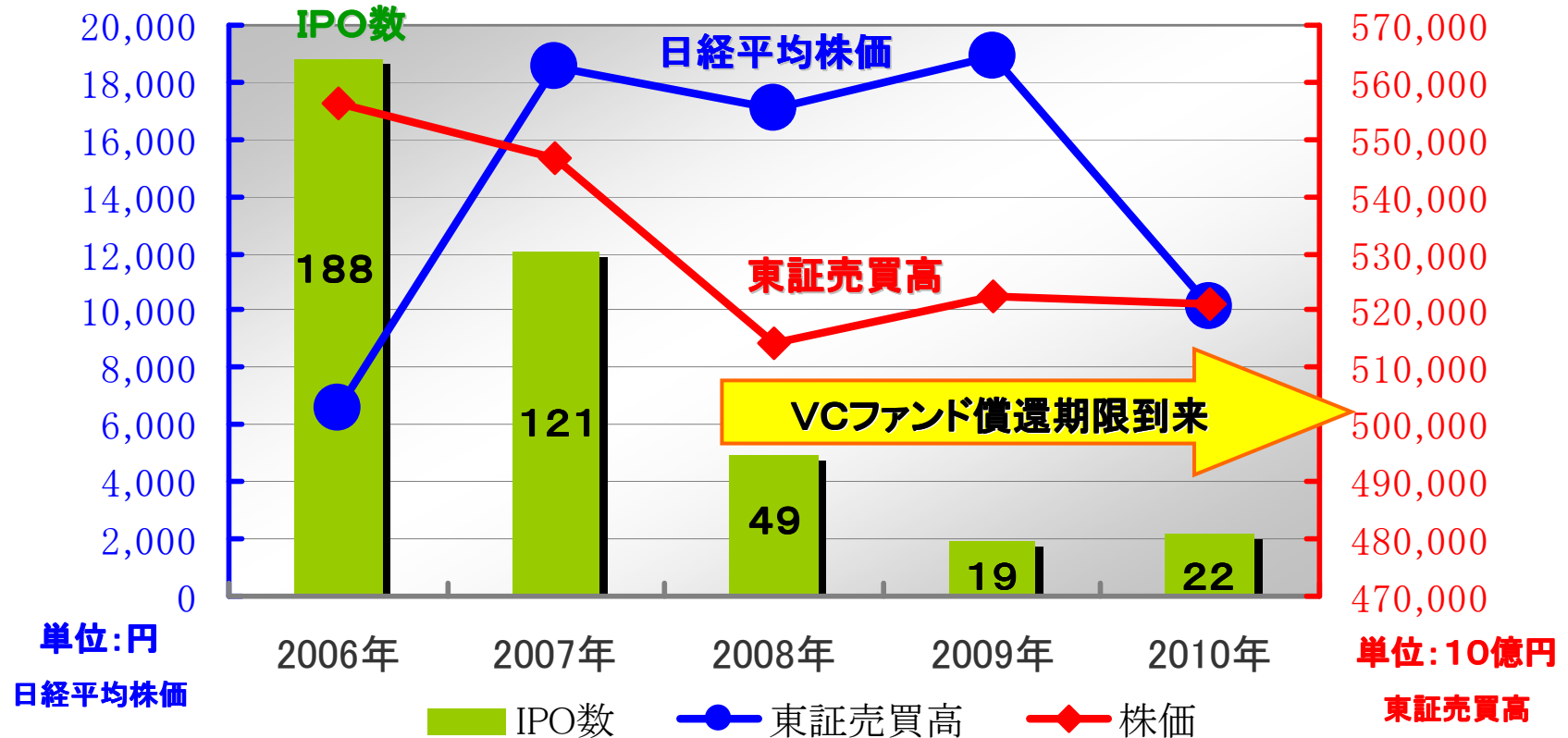
■ 利害関係の調整

- ・資本関係の再構築によるビジネスチャンス拡大
⇒ 意義の薄れた資本関係を有意義なものへと橋渡し(ブリッジ)する。
- ・保有意義のない売り手から割安で購入し、保有意義のある買い手に売却して、リターン獲得
⇒ 旧株主への流動性供給、新株主への投資機会提供により、価値の増大。

買い手市場(流動性の低下)

■ 債権価格の下落と資本市場の機能不全 ⇒ 買い手市場

《日経平均株価、東証売買高、IPO企業、推移》



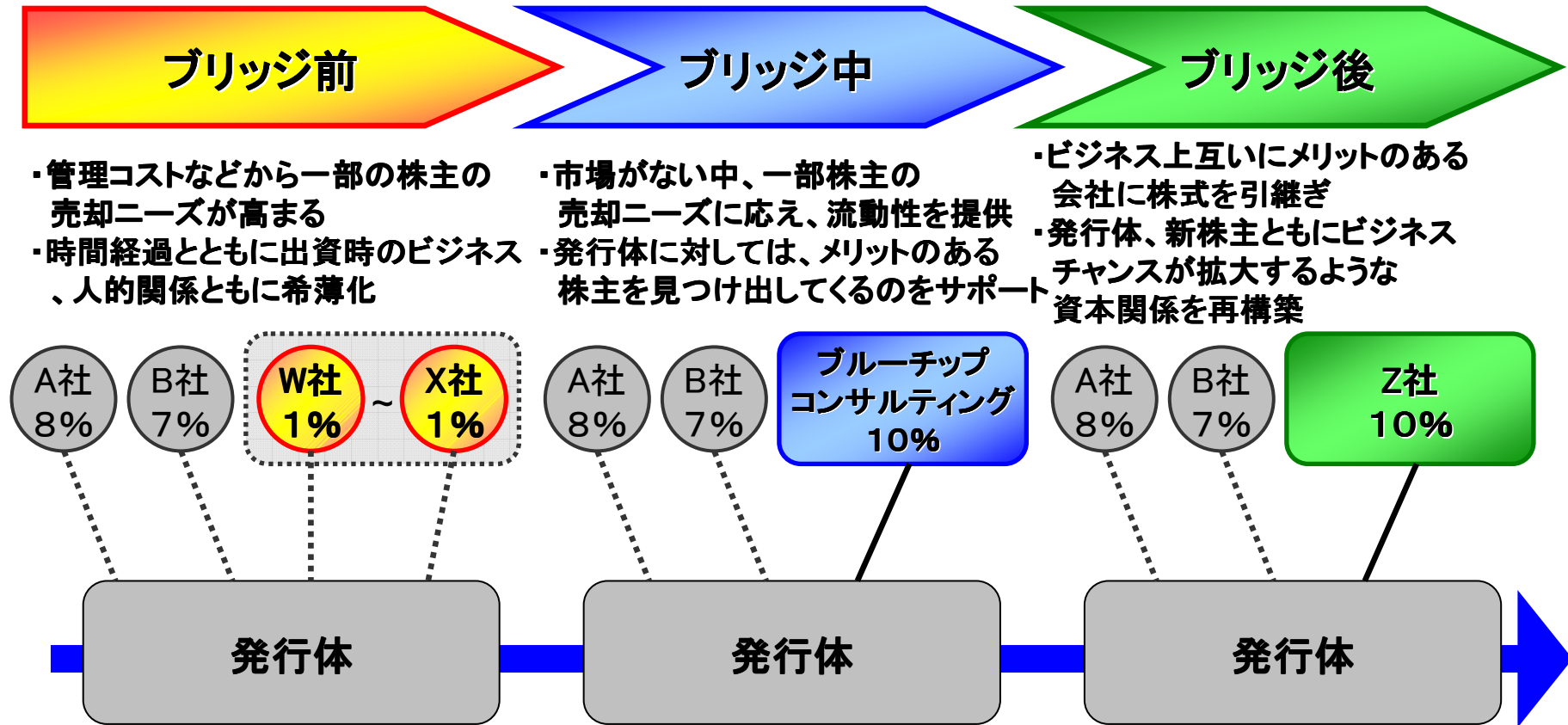
出所: 東京証券取引所、野村総合研究所のデータを基にBCCが作成。

■ 旧株主、新株主、発行体の3社がメリット享受。

利害関係の調整【株主構成】

■ 資本関係の再構築によるビジネスチャンス拡大

《株主構成の変遷》



■ 意義の薄れた資本関係を有意義なものへと橋渡し(ブリッジ)する。

利害関係の調整【企業価値】

■ 保有意義のない売り手から割安で購入し、保有意義のある買い手に売却して、リターン獲得

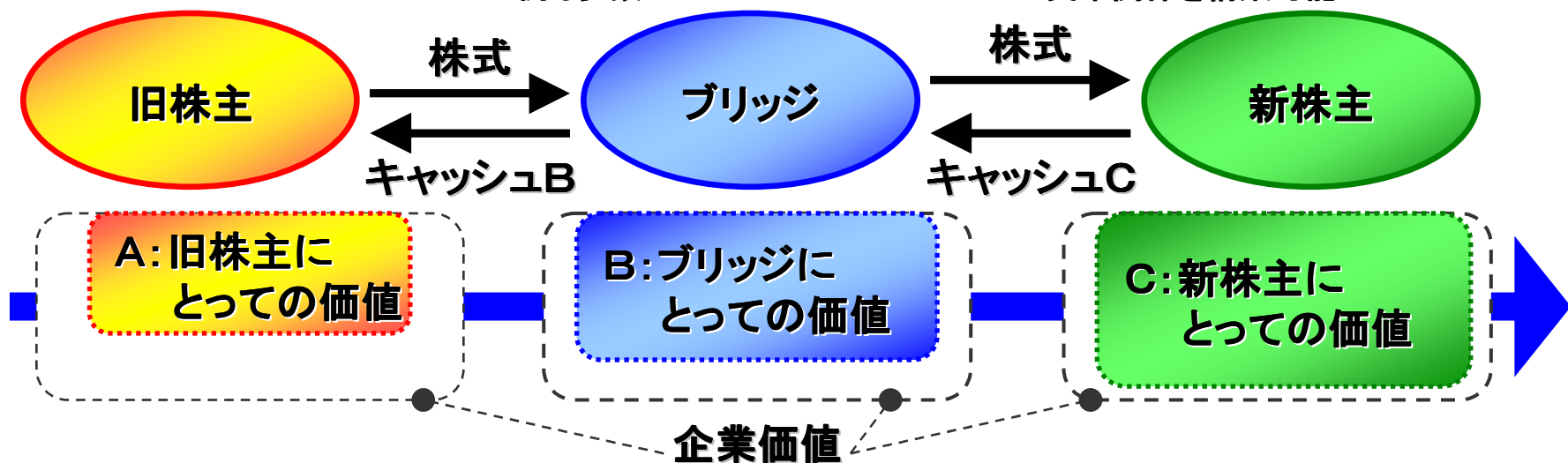
《企業価値の変遷》



・時間経過とともに企業価値が増大するも、取引関係の薄れた旧株主にとっての価値は低下

・旧株主にとっての価値より高く、企業価値より”より安く”投資
旧株主が売却益を計上できる
例も多数

・企業価値より“安く”新株主に売却
-投資価格以上で売却可能
-新株主も企業価値より割安で資本関係を構築可能



■ 旧株主への流動性供給、新株主への投資機会提供により、価値の増大。

資本戦略(債権系)フロー

- ・ファンドの償還(満期、繰上げ) = 早急な現金化
- ・上場中止企業の株式 = 不良債権

旧株主
【VC、ファンド等】

ブルーチップ
コンサルティング

新株主
【投資先経営者、他利害関係者】

・現金化ニーズ

流動性の向上

- ・現在価値より安く購入
- ・株主構成の再編

株主名義:
VC、ファンド等

購入【ブリッジ】売却

株主名義:
経営者

- 利害関係の調整(ex: 株主整理)
 - ・過去の様々なしがらみや利害関係を整理することでの企業再生
- 価値の相違
 - ・安くても売りたい理由、高くても買いたい理由
- 流動性とタイミング
 - ・ファンド償還や、現金化、損金計上に対応

パートナー紹介

■ 大木健司

コンサルティング会社、IT会社にて、ビジネスの仕組み作りに携わる。その後、年金運用会社にて企業再生や海外進出事業に従事。2002年当社設立。当初は、食品、精密機械の貿易業務に従事し、スリランカ、カンボジア、タイ等、アジア各国駐在経験を積む。2004年よりファンド設定。金融インフラ会社（米）、鉱山会社（豪）、投資銀行（越南）への投資及び、資金調達コンサルティング事業に従事。国土交通省海外展開支援アドバイザー。大東文化大学法学部卒。

■ 北岡郁

国内金融機関や国内大手投資ファンドにおいて4年間、社内弁護士として勤務。会社法・金融商品取引法等を中心に、法務DDや投資実行、M&A契約締結等に数多く携わる。2011年愛宕中央法律事務所の立上げに参加。現在も元勤務先国内大手投資ファンドのセカンダリーチーム等と連携し案件処理に携わっている。慶應義塾大学経済学部卒。2007年弁護士登録（第二東京弁護士会）。

■ 高野省吾

2006年野村證券入社。リテール事業、ファイナンシャルプランニング業務に従事。2010年パートナーズ総合税理士法人入社。資産税部門を立ち上げ、大手金融機関の富裕層顧客に対するPB業務、相続事業承継スキーム提案を手掛ける。M&A、海外非上場会社へのリテール営業にも携わる。中央大学大学院法学研究科卒。

■ 堀元慎輔

2005年新日本有限責任監査法人国際部入所。日欧米の会計基準に基づく財務諸表監査、内部統制評価、ファンド監査を担当。2010年株式会社パートナーズコンサルティング入社。製造業、小売業、物流業に対するM&Aアドバイザー業務、デューデリジェンスを担当。立命館大学理工学部卒。公認会計士。

投資実績 1.



マイクロファイナンス・インターナショナル・コーポレーション
(Microfinance International Corp. / MFIC)

■ 事業概要

- ー資金決済システムARIASペイメント・決済プラットフォームの提供
- ーマイクロファイナンスサービスの提供
- ー移民向け金融サービスの提供
- ーマネーロンダリング規制関連アドバイザリーサービスの提供

■ 主要取引先

米国連邦準備銀行、米州開発銀行、アフリカ銀行、KDDI、NTTドコモ、各国の携帯電話会社、一般個人等

■ 主要株主

KDDI、枋迫篤昌、グローバルブレイン、東京海上日動火災保険、アイネス、他

■ BCCサポートと実績

投資

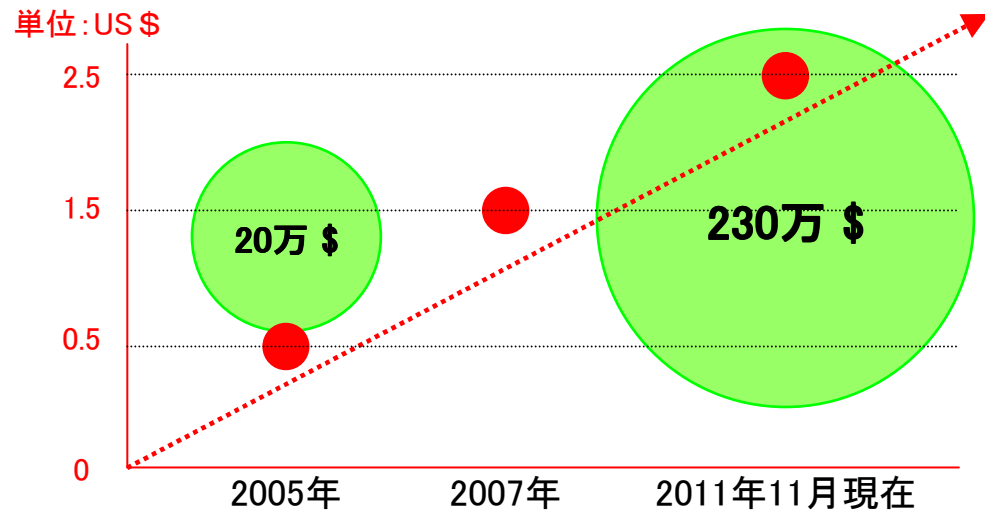
- ・2005年から優先株式の引受。

経営支援

信用補完

- ・大手機関投資家の出資による信用補完、
資産管理会社等の出資による資金調達。

■ 総投資額(簿価)、株価(第三者割当時)の推移



投資実績 2.



THIEN VIET SECURITIES (テンベト証券株式会社)

■ 概要

- ・ベトナム初の投資銀行。IFCからの出資を受けると同時に、GoldManSachsをはじめとする外資系投資銀行を顧客に持つ。2011年度第三四半期までの、ベトナム国内M&A案件シェアは40%超を占める。
- ・弊社取締役(Nguyen Truong Giang)がテンベト証券取締役ハノイ支店長を兼任。
- ・弊社(株式会社ブルーチップ・コンサルティング)および弊社VNTファンドは第3位の株主(2011年現在)です。

■ BCCサポートと実績

投資

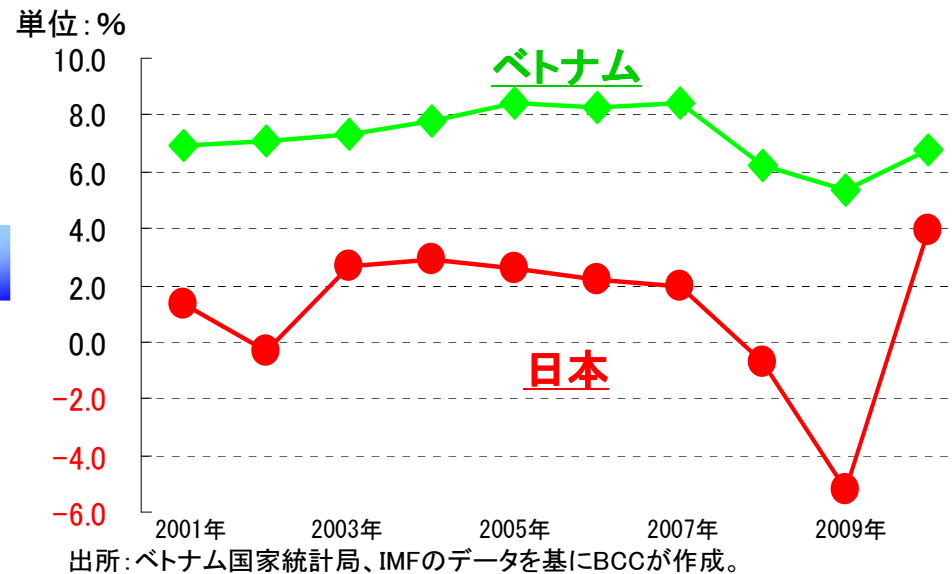
- ・約3億円出資(2006年～2007年)

株主提案

- ・出資による信用補完
- ・アライアンスのアレンジ。
- ・取締役の派遣。
- ・経営陣に対するアドバイスおよび提案。

経営支援

■ ベトナムのGDP成長率の推移



会社概要

会社名	株式会社ブルーチップ・コンサルティング
設立年	2002年10月
資本金	2,500万円
代表取締役	代表取締役 大木健司
取締役	Nguyen Truong Giang (Director: Thien Viet securities Company)
URL	http://www.bcc-jp.com
ベトナム事務所	535 Kim ma, Ba Dinh, Ha Noi
取引銀行	三井住友銀行 日比谷支店、東京中央支店
カストディアン	Standard Chartered Bank Hanoi Branch
登録番号／届出	適格機関投資家等特例業者（届出根拠法附則第48条） 管轄財務局 関東財務局 平成20年4月24日
主要投資先	Micro Finance International Corp.（米国） Thien Viet Security Company（ベトナム）